

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

施設名	岡山県南部健康づくりセンター
施設所在地	岡山県岡山市北区平田408-1

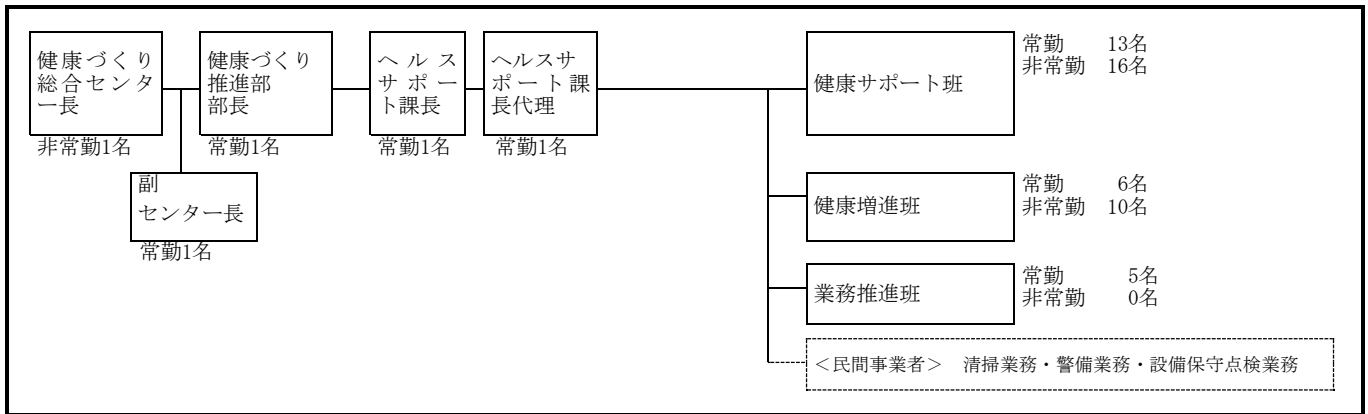
【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人 岡山県健康づくり財団	代表者	理事長 松山 正春
所在地	岡山県岡山市北区平田408-1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	報告期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
管理業務の内容	・岡山県健康づくりセンター条例第2条に規定する業務の実施に関する事 ・センターの施設及び設備の利用等の許可に関する事 ・センターの施設及び設備の維持管理に関する事		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合 計
許可件数	6年度	606	8,960	75	1,521	11,726	22,888
	5年度	593	8,440	79	1,724	11,493	22,329
	増減	13	520	△4	△203	233	559

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設の維持管理業務	・建物保守管理業務 ・設備保守管理業務 ・施設清掃業務 ・植栽管理業務 ・警備業務
施設等利用許可業務	・許可件数：22,888件〔内訳〕ヘルスチェック（606件）施設自由利用（8,960件）施設貸出（75件）その他健康増進活動（1,521件）人間ドック（10,482件）婦人科検診等（94件）機器開放（1,150件）
自主企画事業	・年長児から小学6年生を対象として定期的なかけっこ教室を94回開催 ・難病相談・支援センターの患者交流会に管理栄養士、運動指導員を派遣して講演を3回実施

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	ヘルスチェック	施設自由利用	施設貸出	その他健康増進活動	人間ドック等	合 計
収入額	593,830	55,582,460	2,030,210	4,253,495	316,979,623	379,439,618
利用件数	606	83,274	75	1,521	11,726	97,202
減 免 額	2,417,710	2,392,260	1,620,830	0	7,166,425	13,597,225
減免理由	障害者の施設利用、健康づくりセンターとの共同研究利用等					

指定管理者からの令和6年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		6 年度	対前年度増減額	5 年度	備 考
収 入 額 A		480,138,193	△8,853,490	488,991,683	6 年度収入額 ・指定管理料のうち賃金及び物価の 上昇に応じた増額 分 6,316,000円 (財源は全額国庫)
内 訳	指定管理料	97,050,583	△8,460,597	105,511,180	
	利用料金収入	379,439,618	7,625,899	371,813,719	
	事業収入	68,812	△27,343	96,155	
	その他	3,579,180	△7,991,449	11,570,629	
支 出 額 B		480,138,193	△8,853,490	488,991,683	その他の主なもの ・積立金取崩収入 3,579,180円 6 年度支出額 その他の主なもの ・税金 43,313,946円
内 訳	人件費	209,786,226	△4,181,112	213,967,338	
	管理運営費	96,375,118	△8,997,878	105,372,996	
	事業費	89,240,166	8,314,430	80,925,736	
	その他	84,736,683	△3,988,930	88,725,613	
収 支 額 A－B		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		90,734,583	△14,776,597	105,511,180	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B	適切な施設管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B	法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理についての研修を行うなど、利用者の安全性を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な管理	B	適切な財産管理が行われていた。
導入効果	① 利用状況	B	健康増進施設の利用件数は前年度より増加した。 【利用件数】R6：97,202件 ← R5：90,644件
	② 収支状況	B	収入は、利用料金収入が増加したものの、指定管理料、事業収入、その他の減少により、前年度より減少した。支出は、事業費が増加したものの、人件費、管理運営費、その他の減少により、前年度より減少した。収支額は、前年度同額となった。
	③ サービス向上	B	健康フェスタの開催やお手軽教室の見直しなどを行った。また、人間ドックでは繁忙期の月曜日（休日）を6日開館し、受診者を受け入れた。
管理運営業務全般		B	適切に管理運営業務が実施されるとともに、利用状況は前年度より増加した。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。